

角田忠行 つひのぶ 歌人。天保五年十一月六日信濃國佐久郡長土呂村生れ、大正七年十一月十五日歿（一八三〇—一九一八）。通稱由三郎、變名米川信濃。號伊吹舎、鎮石堂。安政二年脱藩（岩村田藩）して、江戸で藤田東湖、平田鐵胤の學んだ。文久三年京都等持院の足利將軍三代木像梟首事件で幕吏に進はれ、伊那に潜伏。その後と國專に奔走。維新後、皇學所監察、學制取調御用掛を経て宮司職に就き、明治十二年熱田神宮大宮司となつて大正三年まで在職した。

著書に『寶訓彙』（明治六年七月官許、辻喜家藏版、京都・菅廬舎池邨氏製本）、『新撰龜箱記抄』（阪正裕共註、明治二十四年一月）十一日愛知・阪正裕刊）、『神代史大意』（明治四十二年十一月十日愛知・大東社）等。